

学校コード F116110105312

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科等連係課程実施基本組織の設置

注1

事前相談

注2

富山大学大学院 持続可能社会創成学環

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人富山大学
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部 企画評価課

職名・氏名 事務職員 柳瀬 かおり

電話番号 076-445-6241

（夜間） 076-445-6241

e-mail sokikaku@adm.u-toyama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

持続可能社会創成学環

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 富山大学

(2) 大学名

富山大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒930-8555
富山県富山市五福3190番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(サイトウ シゲル) 齋藤 滋 (平成31年4月)		
学環長	(ワダ ナオヤ) 和田 直也 (令和4年4月)		
副学環長	(カラト コウジ) 唐渡 広志 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履状状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
持続可能社会創成学環 修士（学術） 修士（サステイナビリティ学）	経済学関係 理学関係 工学関係	2 年	18 人	年次 人	36 人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	() []	18人 (-) [-]		1.44倍	一倍									
志願者数	() []	32 4 (-) (-) [8] [4]												
受験者数	() []	32 4 (-) (-) [8] [4]												
合格者数	() []	32 4 (-) (-) [8] [4]												
B 入学者数	() []	26 (-) () [2] []												
入学定員超過率 B/A									1.44					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[2] (-)	[-] (-)								
2年次	/		[] ()	[-] (-)	[-] (-)						
3年次	/		/		[] ()	[] ()					
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	26 [2] (-)									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	26人	0人	平成30年度	—人	—人	
			令和元年度	—人	—人	
			令和2年度	—人	—人	
			令和3年度	—人	—人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

〈持続可能社会創成学環〉

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	研究倫理	13①-13	1								4	
	科学技術と持続可能社会	13①-13	1			3	1		1		4	
	地域共生社会特論	1②		1							1	
	研究者としてのコミュニケーション:基礎と応用	1②		1							6	
	アート・デザイン思考	12②-14		1							6	
	英語論文作成 I	13①-13		1							2	
	英語論文作成 II	12②-14		1							2	
	データサイエンス特論	13①-13		1		1	1				6	
	大学院生のためのキャリア形成	13①-13		1		1					1	
	知的財産法	12②-14		1							3	
小計(10科目)	—	—	2	8		5	2	0	1	0	29	
学環共通科目	持続可能社会創成学概論	1①	1			7	1					
	文化の多様性と持続可能社会	1②		1		5	6	2	3			
	サステナビリティ環境科学	1③		1		2	3	1	2			
	サステナビリティ国際政治経済学	1④		1		2	2					
	デザイン思考	1①		1		1						
	アントレプレナーシップ論	1②		1		1						
	インターンシップ	1②		1		1						
	小計(7科目)	—	—	1	6		10	7	2	3	0	
学環専門科目(社会データサイエンスプログラム)	〈基盤科目〉											
	線形代数特論	1①	1			1						
	数理統計学特論 I	1①	1								1	
	数理統計学特論 II	1②	1								1	
	情報科学特論	1①	1				1				1	
	サイバーフィジカルシステム特論	1②	1			1						
	情報センシング特論	1①	1			1						
	小計(6科目)	—	—	6	0		2	1	0	0	0	2
	〈実践科目〉											
	最適化問題特論	1②		1		1						
	時系列解析特論	1②		1		1						
	確率過程特論	1③		1							1	
	機械学習特論 I	1③		1							1	
	機械学習特論 II	1④		1							1	
	空間統計特論 I	1③		1			1					
空間統計特論 II	1④		1		1	1						
テキストマイニング特論	1④		1							1		
計量経済学特論 I	1①		1		1							
計量経済学特論 II	1②		1		1							
社会データサイエンス特論演習A	1③		1		1	1						
社会データサイエンス特論演習B	1③		1		1							
小計(12科目)	—	—	0	12	0	3	3	0	0	0	3	
〈ドメイン科目〉												
【都市デザイン学系】												
都市・地域計画特論	1③		1							1		
持続可能な社会に資する交通特論	1④		1			1						
自然災害学特論	1③		1			1				1		
災害情報学特論	1④		1			1						
数値シミュレーション特論	1③		1			1						
都市・建築環境特論I	1③		1		1							
都市・建築環境特論II	1④		1							1		
都市・建築設備特論I	1③		1		1							
都市・建築設備特論II	1④		1							1		
【社会科学系】												
地域社会学特論 I	1①		1							1		
地域社会学特論 II	1②		1							1		
経営学特論 I	1①		1		1							
経営学特論 II	1②		1		1							
現代経済理論特論 I	1①		1							1		
現代経済理論特論 II	1②		1							1		
応用計量経済学特論 I	1①		1		1							
応用計量経済学特論 II	1②		1		1							
金融の計量経済分析特論 I	1③		1							1		
金融の計量経済分析特論 II	1④		1							1		
数理計画法特論 I	1③		1							1		
数理計画法特論 II	1④		1							1		

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	研究倫理	13①-13	1								4	
	科学技術と持続可能社会	13①-13	1			3	1		1		4	
	地域共生社会特論	1②		1							1	
	研究者としてのコミュニケーション:基礎と応用	1②		1							6	
	アート・デザイン思考	12②-14		1							6	
	英語論文作成 I	1③		1				1	1			
	英語論文作成 II	1④		1				1	1			
	データサイエンス特論	13①-13		1		1	1				6	
	大学院生のためのキャリア形成	13①-13		1		1					1	
	知的財産法	12②-14		1							3	
小計(10科目)	—	—	2	8		5	3	1	1	0	29	
学環共通科目	持続可能社会創成学概論	1①	1			7	1					
	文化の多様性と持続可能社会	1②		1		6	5	2	3			
	サステナビリティ環境科学	1③		1		3	2	1	2			
	サステナビリティ国際政治経済学	1④		1		2	2					
	デザイン思考	1①		1		1						
	アントレプレナーシップ論	1②		1		1						
	インターンシップ	1②		1		1						
	小計(7科目)	—	—	1	6		11	6	2	3	0	
学環専門科目(社会データサイエンスプログラム)	〈基盤科目〉											
	線形代数特論	1①	1			1						
	数理統計学特論 I	1①	1								1	
	数理統計学特論 II	1②	1								1	
	情報科学特論	1①	1				1				1	
	サイバーフィジカルシステム特論	1②	1			1						
	情報センシング特論	1①	1			1						
	小計(6科目)	—	—	6	0		2	1	0	0	0	2
	〈実践科目〉											
	最適化問題特論	1②		1		1						
	時系列解析特論	1②		1		1						
	確率過程特論	1③		1							1	
	機械学習特論 I	1③		1							1	
	機械学習特論 II	1④		1							1	
	空間統計特論 I	1③		1			1					
空間統計特論 II	1④		1		1	1						
テキストマイニング特論	1④		1							1		
計量経済学特論 I	1①		1		1							
計量経済学特論 II	1②		1		1							
社会データサイエンス特論演習A	1③		1		1	1						
社会データサイエンス特論演習B	1③		1		1							
小計(12科目)	—	—	0	12	0	3	3	0	0	0	3	
〈ドメイン科目〉												
【都市デザイン学系】												
都市・地域計画特論	1③		1							1		
持続可能な社会に資する交通特論	1④		1			1						
自然災害学特論	1③		1			1				1		
災害情報学特論	1④		1			1						
数値シミュレーション特論	1③		1			1						
都市・建築環境特論I	1③		1		1							
都市・建築環境特論II	1④		1							1		
都市・建築設備特論I	1③		1		1							
都市・建築設備特論II(未開講)	1④		1							1		
【社会科学系】												
地域社会学特論 I	1①		1							1		
地域社会学特論 II	1②		1							1		
経営学特論 I(未開講)	1①		1		1							
経営学特論 II	1②		1		1							
現代経済理論特論 I	1①		1							1		
現代経済理論特論 II	1②		1							1		
応用計量経済学特論 I	1①		1		1							
応用計量経済学特論 II	1②		1		1							
金融の計量経済分析特論 I	1③		1							1		
金融の計量経済分析特論 II	1④		1							1		
数理計画法特論 I	1③		1							1		
数理計画法特論 II	1④		1							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学環専門科目(社会データサイエンスプログラム)	財政学特論Ⅰ	1①	1			1							
	財政学特論Ⅱ	1②	1			1							
	社会調査法特論Ⅰ	1①	1			1							
	社会調査法特論Ⅱ	1②	1			1							
	オペレーションズ・リサーチ特論Ⅰ	1③	1			1							
	オペレーションズ・リサーチ特論Ⅱ	1④	1			1							
	小計(27科目)	—	0	27		6	3	0	0	0	0	7	
	<特別研究>												
	社会データサイエンス特別演習Ⅰ	1通	1			5	5						
	社会データサイエンス特別演習Ⅱ	2通	1			5	5						
社会データサイエンス特別研究Ⅰ	1通	1			5	5							
社会データサイエンス特別研究Ⅱ	2通	1			5	5							
小計(4科目)	—	4	0	0	5	5	0	0	0	0			
学環専門科目(グローバルSDGsプログラム)	<基盤科目>												
	サステイナビリティ環境理学基礎	1①	1			3	1						
	サステイナビリティ経済学基礎	1②	1			3							
	アカデミックライティング・コミュニケーション特論	1③-2④	1			1	1						
	サステイナビリティデータ解析・GIS演習	1③	1			2	1		1				
	小計(4科目)	—	4			6	3	1	1	0			
	<実践科目>												
	持続可能性・政治・法律	1①-2②	1			1							
	サステイナビリティ法政策学	1②-2②	1			1							
	移民研究特論	1①-2③	1		1								
境界研究特論	1②-2②	1		1									
経営学特論Ⅰ	1①	1		1									
経営学特論Ⅱ	1②	1		1									
グローバルイノベーション特論Ⅰ	1③-2③	1			1								
グローバルイノベーション特論Ⅱ	1④-2④	1			1								
財政学特論Ⅰ	1①-2③	1		1									
財政学特論Ⅱ	1②-2②	1		1									
国際私法特論Ⅰ	1③-2③	1			1						1		
環境産業特論Ⅰ	1①-2③	1		1									
環境産業特論Ⅱ	1②-2②	1		1									
気候変動解析学	1③-2③	1			1								
水環境計測特論Ⅰ	1①-2③	1		1									
水環境計測特論Ⅱ	1②-2②	1			1					1			
水環境計測特論Ⅲ	1③-2③	1		1									
水環境計測特論Ⅳ	1④-2④	1			1					1			
化学海洋学	1①-2③	1		1									
火山地震化学	1③-2③	1			1					1			
サステイナビリティ・物理特論・エネルギーと計測技術	1③-2③	1			1					1			
植物生態学特論	1④-2④	1		1									
保全生物学特論	1③-2③	1		1									
植物生産学特論	1②-2②	1				1				1			
総合病害虫管理学	1③-2③	1			1					1			
グローバルSDGs海外実践実習	1②-2②	2		5	6	2	3			6	5	2	3
グローバルSDGs海外英語実習	1②-2②	2		1	1	1				1	1		
高低差4000mの共生社会実習	1②-2②	1		5	3					6	2		
短期SDGsインターンシップ	1-2通	1		5	6	2	3			6	5	2	3
環境法ゼミナール	1③-2③	1			1					1			
国際環境法ゼミナール	1④-2④	1			1					1			
環境政策学ゼミナール	1①-2③	1			1					1			
産業法・特許制度ゼミナール	1②-2②	1			1					1			
移民研究ゼミナールⅠ	1①-2③	1		1						1			
移民研究ゼミナールⅡ	1②-2②	1		1						1			
境界研究ゼミナールⅠ	1③-2③	1		1						1			
境界研究ゼミナールⅡ	1④-2④	1		1						1			
財政学ゼミナールⅠ	1①-2③	1		1						1			
財政学ゼミナールⅡ	1②-2②	1		1						1			
公共経済学ゼミナールⅠ	1③-2③	1		1						1			
公共経済学ゼミナールⅡ	1④-2④	1		1						1			
環境産業ゼミナールⅠ	1①-2③	1		1						1			
環境産業ゼミナールⅡ	1②-2②	1		1						1			
環境経済学ゼミナールⅠ	1③-2③	1		1						1			
環境経済学ゼミナールⅡ	1④-2④	1		1						1			
組織と人材のマネジメントゼミナールⅠ	1①-2③	1		1						1			
組織と人材のマネジメントゼミナールⅡ	1②-2②	1		1						1			
人材開発政策ゼミナールⅠ	1③-2③	1		1						1			
人材開発政策ゼミナールⅡ	1④-2④	1		1						1			
国際政治学ゼミナール	1①-2③	1			1					1			
グローバル政治経済学ゼミナール	1②-2②	1			1					1			
地球市民社会ゼミナール	1③-2③	1			1					1			
グローバルイノベーションゼミナール	1④-2④	1			1					1			
気候変動解析学ゼミナールⅠ	1①-2③	1			1					1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学環専門科目(社会データサイエンスプログラム)	財政学特論Ⅰ	1①	1			1							
	財政学特論Ⅱ	1②	1			1							
	社会調査法特論Ⅰ	1①	1			1							
	社会調査法特論Ⅱ	1②	1			1							
	オペレーションズ・リサーチ特論Ⅰ	1③	1			1							
	オペレーションズ・リサーチ特論Ⅱ	1④	1			1							
	小計(27科目)	—	0	27		6	3	0	0	0	0	7	
	<特別研究>												
	社会データサイエンス特別演習Ⅰ	1通	1			5	5						
	社会データサイエンス特別演習Ⅱ	2通	1			5	5						
社会データサイエンス特別研究Ⅰ	1通	1			5	5							
社会データサイエンス特別研究Ⅱ	2通	1			5	5							
小計(4科目)	—	4	0	0	5	5	0	0	0	0			
学環専門科目(グローバルSDGsプログラム)	<基盤科目>												
	サステイナビリティ環境理学基礎	1①	1			3	1						
	サステイナビリティ経済学基礎	1②	1			3							
	アカデミックライティング・コミュニケーション特論	1③-2④	1			1	1						
	サステイナビリティデータ解析・GIS演習	1③	1			2		3		1			
	小計(4科目)	—	4			7	2	1	1	0			
	<実践科目>												
	持続可能性・政治・法律	1①-2②	1			1							
	サステイナビリティ法政策学	1②-2②	1			1							
	移民研究特論	1①-2③	1		1								
境界研究特論	1②-2②	1		1									
経営学特論Ⅰ	1①	1		1									
経営学特論Ⅱ	1②	1		1									
グローバルイノベーション特論Ⅰ	1③-2③	1			1					1			
グローバルイノベーション特論Ⅱ	1④-2④	1			1					1			
財政学特論Ⅰ	1①-2③	1		1									
財政学特論Ⅱ	1②-2②	1		1									
国際私法特論Ⅰ	1③-2③	1			1						1		
環境産業特論Ⅰ	1①-2③	1		1									
環境産業特論Ⅱ	1②-2②	1		1									
気候変動解析学	1③-2③	1			1					1			
水環境計測特論Ⅰ	1①-2③	1		1									
水環境計測特論Ⅱ	1②-2②	1			1						1		
水環境計測特論Ⅲ	1③-2③	1		1									
水環境計測特論Ⅳ	1④-2④	1			1						1		
化学海洋学	1①-2③	1		1									
火山地震化学	1③-2③	1			1						1		
サステイナビリティ・物理特論・エネルギーと計測技術	1③-2③	1			1					1			
植物生態学特論	1④-2④	1		1									
保全生物学特論	1③-2③	1		1									
植物生産学特論	1②-2②	1				1				1			
総合病害虫管理学	1③-2③	1			1					1			
グローバルSDGs海外実践実習	1②-2②	2		5	6	2	3			6	5	2	3
グローバルSDGs海外英語実習	1②-2②	2		1	1	1				1	1		
高低差4000mの共生社会実習	1②-2②	1		5	3					6	2		
短期SDGsインターンシップ	1-2通	1		5	6	2	3			6	5	2	3
環境法ゼミナール	1③-2③	1			1					1			
国際環境法ゼミナール	1④-2④	1			1					1			
環境政策学ゼミナール	1①-2③	1			1					1			
産業法・特許制度ゼミナール	1②-2②	1			1					1			
移民研究ゼミナールⅠ	1①-2③	1		1						1			
移民研究ゼミナールⅡ	1②-2②	1		1						1			
境界研究ゼミナールⅠ	1③-2③	1		1						1			
境界研究ゼミナールⅡ	1④-2④	1		1						1			
財政学ゼミナールⅠ	1①-2③	1		1						1			
財政学ゼミナールⅡ	1②-2②	1		1						1			
公共経済学ゼミナールⅠ													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学環専門科目 (グローバルSDGsプログラム)	気候変動解析学ゼミナールⅡ	12-22	1			1						
	同位体地球化学ゼミナールⅠ	13-23	1			1						
	同位体地球化学ゼミナールⅡ	14-24	1			1						
	環境化学計測ゼミナールⅠ	13-23	1			1						
	環境化学計測ゼミナールⅡ	12-22	1			1						
	水処理化学ゼミナールⅠ	13-23	1			1						
	水処理化学ゼミナールⅡ	14-24	1			1						
	水環境計測ゼミナールⅠ	13-23	1						1			
	水環境計測ゼミナールⅡ	12-22	1						1			
	土壌環境計測ゼミナールⅠ	13-23	1							1		
	土壌環境計測ゼミナールⅡ	14-24	1								1	
	化学海洋学ゼミナールⅠ	13-23	1			1						
	化学海洋学ゼミナールⅡ	12-22	1			1						
	水圏化学ゼミナールⅠ	13-23	1			1						
	水圏化学ゼミナールⅡ	14-24	1			1						
	環境物理学ゼミナールⅠ	13-23	1				1					
	環境物理学ゼミナールⅡ	12-22	1				1					
	量子エレクトロニクスゼミナールⅠ	13-23	1				1					
	量子エレクトロニクスゼミナールⅡ	14-24	1				1					
	植物生態学ゼミナール	13-23	1			1						
	森林生態管理ゼミナール	12-22	1			1						
	高山生態学ゼミナール	13-23	1			1						
	保全生物学ゼミナール	14-24	1			1						
	作物遺伝学ゼミナールⅠ	13-23	1					1				
	作物遺伝学ゼミナールⅡ	12-22	1					1				
	植物分子遺伝学ゼミナールⅠ	13-23	1					1				
	植物分子遺伝学ゼミナールⅡ	14-24	1					1				
	共生機能科学ゼミナールⅠ	13-23	1				1					
	共生機能科学ゼミナールⅡ	12-22	1				1					
	総合病害虫管理ゼミナールⅠ	13-23	1				1					
	総合病害虫管理ゼミナールⅡ	14-24	1				1					
	小計(86科目)		—	0	87	0	7	6	2	3	0	1
	<特別研究>											
先端研究トラックサステイナビリティ先端研究Ⅰ	11-11	2			7	5						
先端研究トラックサステイナビリティ先端研究Ⅱ	11-11	2			7	5						
先端研究トラックサステイナビリティ先端研究Ⅲ	11-11	2			7	5						
先端研究トラックサステイナビリティ先端研究Ⅳ	11-11	2			7	5						
先端研究トラックサステイナビリティ先端研究Ⅴ	22-24	2			7	5						
実践研究トラックサステイナビリティ実践研究Ⅰ	13-13	2			7	5						
実践研究トラックサステイナビリティ実践研究Ⅱ	22-24	2			7	5						
小計(7科目)		—	0	14	0	7	5	0	0	0	0	
合計(162科目)		—	17	154	0	18	11	2	3	0	39	
卒業要件及び履修方法												
(社会データサイエンスプログラム) 大学院共通科目から必修科目2単位選択科目2単位以上、学環共通科目から必修科目1単位選択科目3単位以上、学環専門科目の基盤科目及び特別研究から必修科目10単位、実践科目及びドメイン科目から選択科目12単位以上、合計30単位以上で修得し、修士論文の審査に合格した場合に学位を授与する。 なお、学環専門科目の選択科目のうち、実践科目から8単位以上、ドメイン科目から4単位以上を選択必修とする。												
(グローバルSDGsプログラム) 大学院共通科目から必修科目2単位選択科目2単位以上、学環共通科目から必修科目1単位選択科目3単位以上、学環専門科目の基盤科目から必修科目4単位、実践科目及び特別研究から選択科目18単位以上、合計30単位以上で修得し、修士論文の審査に合格した場合に学位を授与する。 なお、学環専門科目の実践科目のうち、グローバルSDGs海外実践実習、グローバルSDGs海外英語実習、高低差4000mの共生社会実習、短期SDGsインターンシップから1単位以上を選択必修とする。特別研究のうち、先端研究トラック(合計10単位)又は実践研究トラック(合計4単位)のいずれかを選択必修とする。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学環専門科目 (グローバルSDGsプログラム)	気候変動解析学ゼミナールⅡ	12-22	1			1						
	同位体地球化学ゼミナールⅠ	13-23	1			1						
	同位体地球化学ゼミナールⅡ	14-24	1			1						
	環境化学計測ゼミナールⅠ	13-23	1			1						
	環境化学計測ゼミナールⅡ	12-22	1			1						
	水処理化学ゼミナールⅠ	13-23	1			1						
	水処理化学ゼミナールⅡ	14-24	1			1						
	水環境計測ゼミナールⅠ	13-23	1						1			
	水環境計測ゼミナールⅡ	12-22	1						1			
	土壌環境計測ゼミナールⅠ	13-23	1							1		
	土壌環境計測ゼミナールⅡ	14-24	1								1	
	化学海洋学ゼミナールⅠ	13-23	1			1						
	化学海洋学ゼミナールⅡ	12-22	1			1						
	水圏化学ゼミナールⅠ	13-23	1			1						
	水圏化学ゼミナールⅡ	14-24	1			1						
	環境物理学ゼミナールⅠ	13-23	1				1					
	環境物理学ゼミナールⅡ	12-22	1				1					
	量子エレクトロニクスゼミナールⅠ	13-23	1				1					
	量子エレクトロニクスゼミナールⅡ	14-24	1				1					
	植物生態学ゼミナール	13-23	1			1						
	森林生態管理ゼミナール	12-22	1			1						
	高山生態学ゼミナール	13-23	1			1						
	保全生物学ゼミナール	14-24	1			1						
	作物遺伝学ゼミナールⅠ	13-23	1					1				
	作物遺伝学ゼミナールⅡ	12-22	1					1				
	植物分子遺伝学ゼミナールⅠ	13-23	1					1				
	植物分子遺伝学ゼミナールⅡ	14-24	1					1				
	共生機能科学ゼミナールⅠ	13-23	1				1					
	共生機能科学ゼミナールⅡ	12-22	1				1					
	総合病害虫管理ゼミナールⅠ	13-23	1				1					
	総合病害虫管理ゼミナールⅡ	14-24	1				1					
	小計(86科目)		—	0	87	0	8	5	2	3	0	1
	<特別研究>											
サステイナビリティ先端研究Ⅰ	11-11	2			7	5						
サステイナビリティ先端研究Ⅱ	11-11	2			7	5						
サステイナビリティ先端研究Ⅲ	11-11	2			7	5						
サステイナビリティ先端研究Ⅳ	11-11	2			7	5						
サステイナビリティ先端研究Ⅴ	22-24	2			7	5						
サステイナビリティ実践研究Ⅰ	13-13	2			7	5						
サステイナビリティ実践研究Ⅱ	22-24	2			7	5						
小計(7科目)		—	0	14	0	8	4	0	0	0	0	
合計(162科目)		—	17	154	0	18	10	2	3	0	39	
卒業要件及び履修方法												
(社会データサイエンスプログラム) 大学院共通科目から必修科目2単位選択科目2単位以上、学環共通科目から必修科目1単位選択科目3単位以上、学環専門科目の基盤科目及び特別研究から必修科目10単位、実践科目及びドメイン科目から選択科目12単位以上、合計30単位以上で修得し、修士論文の審査に合格した場合に学位を授与する。 なお、学環専門科目の選択科目のうち、実践科目から8単位以上、ドメイン科目から4単位以上を選択必修とする。												
(グローバルSDGsプログラム) 大学院共通科目から必修科目2単位選択科目2単位以上、学環共通科目から必修科目1単位選択科目3単位以上、学環専門科目の基盤科目から必修科目4単位、実践科目及び特別研究から選択科目18単位以上、合計30単位以上で修得し、修士論文の審査に合格した場合に学位を授与する。 なお、学環専門科目の実践科目のうち、グローバルSDGs海外実践実習、グローバルSDGs海外英語実習、高低差4000mの共生社会実習、短期SDGsインターンシップから1単位以上を選択必修とする。特別研究のうち、先端研究トラック(合計10単位)又は実践研究トラック(合計4単位)のいずれかを選択必修とする。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には「設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)」を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

○配当年次の変更

・教育上の効果を高めるため教育課程を見直し、以下の配当年次を変更する。
「英語論文作成Ⅰ」「英語論文作成Ⅱ」「空間統計特論Ⅰ」「自然災害学特論」「都市・建築環境特論Ⅱ」「都市・建築設備特論Ⅱ」「化学海洋学」

○教員配置の変更

・教員の職位変更により、下記の科目の専任教員等の配置を変更する。
「英語論文作成Ⅰ」「英語論文作成Ⅱ」は「兼任・兼任2」から「准教授1、講師1」に変更。
「文化の多様性と持続可能社会」は「教授5、准教授6、講師2、助教3」から「教授6、准教授5、講師2、助教3」に変更。
「サステナビリティ環境科学」は「教授2、准教授3、講師1、助教2」から「教授3、准教授2、講師1、助教2」に変更。
「サステナビリティデータ解析・GIS演習」は「教授2、准教授1、助教1」から「教授3、助教1」に変更。
「気候変動解析学」は「准教授1」から「教授1」に変更。
「グローバルSDGs海外実践実習」は「教授5、准教授6、講師2、助教3」から「教授6、准教授5、講師2、助教3」に変更。
「高低差4000mの共生社会実習」は「教授5、准教授3」から「教授6、准教授2」に変更。
「短期SDGsインターンシップ」は「教授5、准教授6、講師2、助教3」から「教授6、准教授5、講師2、助教3」に変更。
「気候変動解析学ゼミナールⅠ」は「准教授1」から「教授1」に変更。
「気候変動解析学ゼミナールⅡ」は「准教授1」から「教授1」に変更。
「同位体地球化学ゼミナールⅠ」は「准教授1」から「教授1」に変更。
「同位体地球化学ゼミナールⅡ」は「准教授1」から「教授1」に変更。
「サステナビリティ先端研究Ⅰ」は「教授7、准教授5」から「教授8、准教授4」に変更。
「サステナビリティ先端研究Ⅱ」は「教授7、准教授5」から「教授8、准教授4」に変更。
「サステナビリティ先端研究Ⅲ」は「教授7、准教授5」から「教授8、准教授4」に変更。
「サステナビリティ先端研究Ⅳ」は「教授7、准教授5」から「教授8、准教授4」に変更。
「サステナビリティ先端研究Ⅴ」は「教授7、准教授5」から「教授8、准教授4」に変更。
「サステナビリティ実践研究Ⅰ」は「教授7、准教授5」から「教授8、准教授4」に変更。
「サステナビリティ実践研究Ⅱ」は「教授7、准教授5」から「教授8、准教授4」に変更。

○科目名の変更

・学生が履修選択する際に簡明となるよう下記の科目名を変更する。
「先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅰ」から「サステナビリティ先端研究Ⅰ」に変更。
「先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅱ」から「サステナビリティ先端研究Ⅱ」に変更。
「先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅲ」から「サステナビリティ先端研究Ⅲ」に変更。
「先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅳ」から「サステナビリティ先端研究Ⅳ」に変更。
「先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅴ」から「サステナビリティ先端研究Ⅴ」に変更。
「実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅰ」から「サステナビリティ実践研究Ⅰ」に変更。
「実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅱ」から「サステナビリティ実践研究Ⅱ」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
17 科目	145 科目	0 科目	162 科目	17 科目 [0]	145 科目 [0]	0 科目 [0]	162 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{162} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	用途変更のため(4)					
	校舎敷地	518,281 518,141 m ²	- m ²	- m ²	518,281 518,141 m ²						
	運動場用地	105,572 m ²	- m ²	- m ²	105,572 m ²						
	小 計	623,853 623,713 m ²	- m ²	- m ²	623,853 623,713 m ²						
	そ の 他	89,769 89,909 m ²	- m ²	- m ²	89,769 89,909 m ²						
	合 計	713,622 m ²	- m ²	- m ²	713,622 m ²						
(2) 校舎	専 用	228,408 228,130 m ²	- m ²	- m ²	228,408 228,130 m ²	用途変更のため(4)					
	(228,408 228,130 m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)							
(3) 教室等	講義室	130 131 室	演習室	246 238 室	実験実習室	664 653 室	情報処理学習施設	21 室	語学学習施設	2 室	大学全体 用途変更のため(4)
					(補助職員 14人)		(補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						
	持続可能社会創成学環				34		室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 新規受入、図書の整理のため(4) 教育研究の充実のため(4)		
			大学全体								
	計	1,343,430 〔421,874〕	38,464 [21,147] 23,029 [-7,203]-	15,458 [13,947] 15,147 [-13,627]-	18,559 18,448	36 37	0 (0)				
		1,343,430 〔421,874〕	(38,464 [21,147]) 23,029 [-7,203]-	(15,458 [13,947]) 15,147 [-13,627]-	(18,559 18,448)	(36) (37)	(0)				
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		新型コロナウイルス感染対策のため(4)				
	13,840 m ²		1,414 1,512		1,056,750						
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	7,112 m ²		弓道場・武道館 プール・テニスコート								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による		
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円			
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			—								

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	富山大学						学生募集停止学科数	9	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文学部	4	188	3年次7	712	-	1.02	1.00				
人文学科	4	188	3年次7	712	学士(文学)	1.02	1.00	-	昭和52	富山県富山市五福3190番地	定員変更(18)
教育学部	4	85	-	85	-	1.08	1.08				
共同教員養成課程	4	85	-	85	学士(教育学)	1.08	1.08	令和4	令和4	富山県富山市五福3190番地	
人間発達科学部											
発達教育学科	4	-	-	240	学士(教育学)	-	-	-	平成17	富山県富山市五福3190番地	令和4年学生募集停止
人間環境システム学科	4	-	-	270	学士(教育学)	-	-	-	平成17	同上	令和4年学生募集停止
経済学部	4	365	3年次10	1,390	-	1.01	1.01				
(昼間主コース)	4	335	3年次10	1,270	-	1.01	1.00	-			
経済学科	4	135	3年次4	503	学士(経済学)	1.03	1.00	-	平成30	富山県富山市五福3190番地	定員変更(15)
経営学科	4	108	3年次4	416	学士(経営学)	1.01	1.00	-	平成30	同上	定員変更(8)
経営法学科	4	92	3年次2	351	学士(法学)	1.01	1.01	-	平成30	同上	定員変更(7)
(夜間主コース)	4	30	-	120	-	1.05	1.10	-			
経済学科	4	10	-	40	学士(経済学)	1.10	1.20	-	平成30	富山県富山市五福3190番地	
経営学科	4	10	-	40	学士(経営学)	1.02	1.00	-	平成30	同上	
経営法学科	4	10	-	40	学士(法学)	1.02	1.10	-	平成30	同上	
理学部	4	193	3年次4	771	-	1.03	1.02				
数学科	4	45	-	195	学士(理学)	1.03	1.06	-	昭和52	富山県富山市五福3190番地	定員変更(△5)
物理学科	4	40	3年次1	162	学士(理学)	1.04	1.00	-	昭和52	同上	
化学科	4	35	3年次1	142	学士(理学)	1.05	1.02	-	昭和52	同上	
生物学科	4	38	3年次1	145	学士(理学)	1.03	1.00	-	昭和52	同上	定員変更(3)
地球科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	-	-	昭和52	同上	平成30年学生募集停止
自然環境科学科	4	35	3年次1	127	学士(理学)	1.02	1.00	-	平成5	同上	定員変更(5)
医学部											
医学科	6	105	2年次5	655	学士(医学)	1.00	1.00	令和4	昭和50	富山県富山市杉谷2630番地	
看護学科	4	80	3年次10	340	学士(看護学)	1.00	1.00	-	平成5	同上	
薬学部											
薬学科	6	70	-	345	学士(薬学)	1.04	1.00	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	定員変更(15)
創薬科学科	4	35	-	185	学士(薬科学)	1.08	1.14	-	平成18	同上	定員変更(△15)

工学部	4	380	3年次17	1,509	-	1.02	1.03					
工学科	4	380	3年次17	1,509	学士 (工学)	1.02	1.03	-	平成30	富山県富山市五福3190番地		
電気電子システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年学生募集停止	
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年学生募集停止	
機械知能システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年学生募集停止	
生命工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年学生募集停止	
環境応用化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年学生募集停止	
材料機能工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年学生募集停止	
芸術文化学部	4	110	-	440	-	1.04	1.03					
芸術文化学科	4	110	-	440	学士 (芸術文化学)	1.04	1.03	-	平成17	富山県高岡市二上町180番地		
都市デザイン学部	4	159	3年次3	585	-	1.04	1.03					
地球システム科学科	4	40	-	160	学士 (理学)	1.02	1.05	-	平成30	富山県富山市五福3190番地		
都市・交通デザイン学科	4	54	3年次1	176	学士 (工学)	1.04	1.05	-	平成30	同上	定員変更(14)	
材料デザイン工学科	4	65	3年次2	249	学士 (工学)	1.05	1.00	-	平成30	同上	定員変更(5)	
大学全体	-	1,770	2年次5 3年次51	7,527	-	-	-	-	-	-		
大学の名称	富山大学大学院						学生募集停止学科数	21	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	4	備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地		
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度		
人文社会芸術総合研究科						0.86	0.86					
人文社会芸術総合 専攻(修士課程)	2	46	-	46	修士 (心理学) (文学) (芸術文化学) (経済学) (経営学)	0.86	0.86	-	令和4	富山県富山市五福3190番地 富山県高岡市二上町180番地		
(うち、人文社会芸術総合専攻から持続可能社会創成学環の内数とする入学定員及び収容定員)		(8)		(8)								
人文科学研究科												
人文科学専攻 (修士課程)	2	8	-	8	修士 (文学)	-	-	-	平成23	富山県富山市五福3190番地	令和4年学生募集停止	
人間発達科学研究科												
発達教育専攻 (修士課程)	2	6	-	6	修士 (教育学)	-	-	-	平成23	富山県富山市五福3190番地	令和4年学生募集停止	
発達環境専攻 (修士課程)	2	6	-	6	修士 (教育学)	-	-	-	平成23	同上	令和4年学生募集停止	
経済学研究科												
地域・経済政策専攻 (修士課程)	2	6	-	6	修士 (経済学)	-	-	-	平成3	富山県富山市五福3190番地	令和4年学生募集停止	
企業経営専攻 (修士課程)	2	12	-	12	修士 (経営学)	-	-	-	平成3	同上	令和4年学生募集停止	
芸術文化学研究科												
芸術文化学専攻 (修士課程)	2	8	-	8	修士 (芸術文化学)	-	-	-	平成23	富山県高岡市二上町180番地	令和4年学生募集停止	

生命融合科学教育部						-	-					
認知・情動脳科学専攻（博士課程）	4	9	-	36	博士（医学）	0.57	0.44	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地		
生体情報システム科学専攻（博士課程）	3	4	-	12	博士（薬科学）（理学）（工学）	0.33	0.00	-	平成18	富山県富山市五福3190番地		
先端ナノ・バイオ科学専攻（博士課程）	3	4	-	12	博士（薬科学）（理学）（工学）	0.25	0.25	-	平成18	富山県富山市五福3190番地		
総合医薬学研究科						0.70	0.70					
総合医薬学専攻（修士課程）	2	66	-	66	修士（医科学）（看護学）（薬科学）	0.70	0.70	-	令和4	富山県富山市杉谷2630番地		
(うち、総合医薬学専攻から医薬理工学環の内数とする入学定員及び収容定員)		(8)		(8)								
医学薬学教育部												
医科学専攻（修士課程）	2	15	-	15	修士（医科学）	-	-	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	令和4年学生募集停止	
看護学専攻（博士前期課程）	2	16	-	16	修士（看護学）	-	-	-	平成27	富山県富山市杉谷2630番地	令和4年学生募集停止	
薬科学専攻（博士前期課程）	2	35	-	35	修士（薬科学）	-	-	-	平成22	同上	令和4年学生募集停止	
看護学専攻（博士後期課程）	3	3	-	9	博士（看護学）	0.66	0.66	-	平成27	富山県富山市杉谷2630番地		
薬科学専攻（博士後期課程）	3	8	-	24	博士（薬科学）	1.12	1.00	-	平成24	同上		
生命・臨床医学専攻（博士課程）	4	18	-	72	博士（医学）	0.95	0.77	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地		
東西統合医学専攻（博士課程）	4	7	-	28	博士（医学）	0.28	0.00	-	平成18	同上		
薬学専攻（博士課程）	4	4	-	16	博士（薬学）	0.25	0.25	-	平成24	同上		
理工学研究科						1.20	1.20					
理工学専攻（修士課程）	2	288	-	288	修士（理学）（工学）（理工学）（数理工学）	1.20	1.20	-	令和4	富山県富山市五福3190番地		
(うち、理工学専攻から持続可能社会創成学環の内数とする入学定員数及び収容定員数)		(10)		(10)								
(うち、理工学専攻から医薬理工学環の内数とする入学定員及び収容定員数)		(29)		(29)								
理工学教育部												
数学専攻（修士課程）	2	8	-	8	修士（理学）	-	-	-	平成18	富山県富山市五福3190番地	令和4年学生募集停止	
物理学専攻（修士課程）	2	12	-	12	修士（理学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止	
化学専攻（修士課程）	2	12	-	12	修士（理学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止	
生物学専攻（修士課程）	2	12	-	12	修士（理学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止	
地球科学専攻（修士課程）	2	10	-	10	修士（理学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止	
生物環境科学専攻（修士課程）	2	10	-	10	修士（理学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止	
電気電子システム工学専攻（修士課程）	2	33	-	33	修士（工学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止	
知能情報工学専攻（修士課程）	2	27	-	27	修士（工学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止	
機械知能システム工学専攻（修士課程）	2	33	-	33	修士（工学）	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止	
生命工学専攻（修士課程）	2	18	-	18	修士（工学）	-	-	-	平成24	同上	令和4年学生募集停止	
環境応用化学専攻（修士課程）	2	22	-	22	修士（工学）	-	-	-	平成24	同上	令和4年学生募集停止	
材料機能工学専攻（修士課程）	2	20	-	20	修士（工学）	-	-	-	平成24	同上	令和4年学生募集停止	

数理・ヒューマンシステム科学専攻（博士課程）	3	5	-	15	博士（理学）（工学）	1.86	2.00	-	平成18	同上
ナノ新機能物質科学専攻（博士課程）	3	4	-	12	博士（理学）（工学）	1.75	1.25	-	平成18	同上
新エネルギー科学専攻（博士課程）	3	3	-	9	博士（理学）（工学）	0.44	0.33	-	平成18	同上
地球生命環境科学専攻（博士課程）	3	4	-	12	博士（理学）（工学）	0.83	0.75	-	平成18	同上
持続可能社会創成学環（修士課程）	2	18	-	18	修士（学術）（サステイナビリティ学）	1.44	1.44	-	令和4	富山県富山市五福3190番地
医薬理工学環（修士課程）	2	37	-	37	修士（薬科学）（神経科学）（医工学）	1.35	1.35	-	令和4	富山県富山市五福3190番地 富山県富山市杉谷2630番地
教職実践開発研究科										
教職実践開発専攻（専門職学位課程）	2	14	-	28	教職修士（専門職）	1.07	1.00	-	平成28	富山県富山市五福3190番地
大学院全体	-	487	-	1,014	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<持続可能社会創成学環>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大西 宏治 <令和4年4月> 修士(地理学)
		持続可能社会創成学概論
専	教授	勝間田 明男 <令和4年4月> 博士(理学)
		線形代数特論 最適化問題特論
専	教授	唐渡 広志 <令和4年4月> 博士(経済学)
		計量経済学特論Ⅰ 計量経済学特論Ⅱ 空間統計特論Ⅱ 社会データサイエンス特論演習B 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ
専	教授	久保田 善明 <令和4年4月> 博士(工学)
		持続可能社会創成学概論

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大西 宏治 <令和4年4月> 修士(地理学)
		持続可能社会創成学概論
専	教授	勝間田 明男 <令和4年4月> 博士(理学)
		線形代数特論 最適化問題特論
専	教授 (副 学環 長)	唐渡 広志 <令和4年4月> 博士(経済学)
		計量経済学特論Ⅰ 計量経済学特論Ⅱ 空間統計特論Ⅱ 社会データサイエンス特論演習B 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ
専	教授	久保田 善明 <令和4年4月> 博士(工学)
		持続可能社会創成学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	倉光 英樹 ＜令和4年4月＞ 博士(地球環境科学)
		高低差4000mの共生社会実習 サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティ環境理学基礎 水環境計測特論Ⅰ 水環境計測特論Ⅲ グローバルSDGs海外実践実習 グローバルSDGs海外英語実習 短期SDGsインターンシップ 環境化学計測ゼミナールⅠ 環境化学計測ゼミナールⅡ 水処理化学ゼミナールⅠ 水処理化学ゼミナールⅡ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅰ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅱ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅲ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅳ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅴ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅰ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅱ
専	教授	柴柳 敏哉 ＜令和4年4月＞ 工学博士 持続可能社会創成学概論
専	教授	張 勁 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		科学技術と持続可能社会 持続可能社会創成学概論 高低差4000mの共生社会実習 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティ環境理学基礎 化学海洋学 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 化学海洋学ゼミナールⅠ 化学海洋学ゼミナールⅡ 水圏化学ゼミナールⅠ 水圏化学ゼミナールⅡ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅰ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅱ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅲ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅳ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅴ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅰ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	倉光 英樹 ＜令和4年4月＞ 博士(地球環境科学)
		高低差4000mの共生社会実習 サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティ環境理学基礎 水環境計測特論Ⅰ 水環境計測特論Ⅲ グローバルSDGs海外実践実習 グローバルSDGs海外英語実習 短期SDGsインターンシップ 環境化学計測ゼミナールⅠ 環境化学計測ゼミナールⅡ 水処理化学ゼミナールⅠ 水処理化学ゼミナールⅡ サステナビリティ先端研究Ⅰ サステナビリティ先端研究Ⅱ サステナビリティ先端研究Ⅲ サステナビリティ先端研究Ⅳ サステナビリティ先端研究Ⅴ サステナビリティ実践研究Ⅰ サステナビリティ実践研究Ⅱ
専	教授	柴柳 敏哉 ＜令和4年4月＞ 工学博士 持続可能社会創成学概論
専	教授	張 勁 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		科学技術と持続可能社会 持続可能社会創成学概論 高低差4000mの共生社会実習 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティ環境理学基礎 化学海洋学 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 化学海洋学ゼミナールⅠ 化学海洋学ゼミナールⅡ 水圏化学ゼミナールⅠ 水圏化学ゼミナールⅡ サステナビリティ先端研究Ⅰ サステナビリティ先端研究Ⅱ サステナビリティ先端研究Ⅲ サステナビリティ先端研究Ⅳ サステナビリティ先端研究Ⅴ サステナビリティ実践研究Ⅰ サステナビリティ実践研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中村 和之 ＜令和4年4月＞ 修士(経済学) 大学院生のためのキャリア形成 財政学特論Ⅰ 財政学特論Ⅱ 財政学ゼミナールⅠ 財政学ゼミナールⅡ 公共経済学ゼミナールⅠ 公共経済学ゼミナールⅡ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅰ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅱ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅲ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅳ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅴ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅰ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅱ
		中村(唐渡) 真由美 ＜令和4年4月＞ 博士(社会学) 社会調査法特論Ⅰ 社会調査法特論Ⅱ 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ
専	教授	堀 祐治 ＜令和4年4月＞ 博士(工学) 都市・建築環境特論Ⅰ 都市・建築設備特論Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ
		堀 祐治 ＜令和4年4月＞ 博士(工学) 都市・建築環境特論Ⅰ 都市・建築設備特論Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中村 和之 ＜令和4年4月＞ 修士(経済学) 大学院生のためのキャリア形成 財政学特論Ⅰ 財政学特論Ⅱ 財政学ゼミナールⅠ 財政学ゼミナールⅡ 公共経済学ゼミナールⅠ 公共経済学ゼミナールⅡ サステナビリティ先端研究Ⅰ サステナビリティ先端研究Ⅱ サステナビリティ先端研究Ⅲ サステナビリティ先端研究Ⅳ サステナビリティ先端研究Ⅴ サステナビリティ実践研究Ⅰ サステナビリティ実践研究Ⅱ
		中村(唐渡) 真由美 ＜令和4年4月＞ 博士(社会学) 社会調査法特論Ⅰ 社会調査法特論Ⅱ 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ
専	教授	堀 祐治 ＜令和4年4月＞ 博士(工学) 都市・建築環境特論Ⅰ 都市・建築設備特論Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ
		堀 祐治 ＜令和4年4月＞ 博士(工学) 都市・建築環境特論Ⅰ 都市・建築設備特論Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀江 典生 <令和4年4月> 修士(経済学)
		持続可能社会創成学概論 高低差4000mの共生社会実習 サステナビリティ国際政治経済学 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティ経済学基礎 移民研究特論 境界研究特論 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 移民研究ゼミナールⅠ 移民研究ゼミナールⅡ 境界研究ゼミナールⅠ 境界研究ゼミナールⅡ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅰ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅱ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅲ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅳ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅴ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅰ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅱ
専	教授	堀田 裕弘 <令和4年4月> 博士(工学)
		サイバーフィジカルシステム特論 情報センシング特論 時系列解析特論 社会データサイエンス特論演習A 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀江 典生 <令和4年4月> 修士(経済学)
		持続可能社会創成学概論 高低差4000mの共生社会実習 サステナビリティ国際政治経済学 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティ経済学基礎 移民研究特論 境界研究特論 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 移民研究ゼミナールⅠ 移民研究ゼミナールⅡ 境界研究ゼミナールⅠ 境界研究ゼミナールⅡ サステナビリティ先端研究Ⅰ サステナビリティ先端研究Ⅱ サステナビリティ先端研究Ⅲ サステナビリティ先端研究Ⅳ サステナビリティ先端研究Ⅴ サステナビリティ実践研究Ⅰ サステナビリティ実践研究Ⅱ
専	教授	堀田 裕弘 <令和4年4月> 博士(工学)
		サイバーフィジカルシステム特論 情報センシング特論 時系列解析特論 社会データサイエンス特論演習A 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	馬 駿 ＜令和4年4月＞ 博士(経済学)
		高低差4000mの共生社会実習 サステナビリティ国際政治経済学 サステナビリティ経済学基礎 経営学特論Ⅰ 経営学特論Ⅱ 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティデータ解析・GIS演習 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 組織と人材のマネジメントゼミナールⅠ 組織と人材のマネジメントゼミナールⅡ 人材開発政策ゼミナールⅠ 人材開発政策ゼミナールⅡ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅰ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅱ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅲ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅳ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅴ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅰ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅱ
専	教授	モヴシュク オレクサンダー ＜令和4年4月＞ 博士(経済学)
		データサイエンス特論 応用計量経済学特論Ⅰ 応用計量経済学特論Ⅱ 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ
専	教授	横山 一憲 ＜令和4年4月＞ 学術博士
		オペレーションズ・リサーチ特論Ⅰ オペレーションズ・リサーチ特論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	馬 駿 ＜令和4年4月＞ 博士(経済学)
		高低差4000mの共生社会実習 サステナビリティ国際政治経済学 サステナビリティ経済学基礎 経営学特論Ⅰ 経営学特論Ⅱ 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティデータ解析・GIS演習 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 組織と人材のマネジメントゼミナールⅠ 組織と人材のマネジメントゼミナールⅡ 人材開発政策ゼミナールⅠ 人材開発政策ゼミナールⅡ サステナビリティ先端研究Ⅰ サステナビリティ先端研究Ⅱ サステナビリティ先端研究Ⅲ サステナビリティ先端研究Ⅳ サステナビリティ先端研究Ⅴ サステナビリティ実践研究Ⅰ サステナビリティ実践研究Ⅱ
専	教授	モヴシュク オレクサンダー ＜令和4年4月＞ 博士(経済学)
		データサイエンス特論 応用計量経済学特論Ⅰ 応用計量経済学特論Ⅱ 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ
専	教授	横山 一憲 ＜令和4年4月＞ 学術博士
		オペレーションズ・リサーチ特論Ⅰ オペレーションズ・リサーチ特論Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	龍 世祥 <令和4年4月> 博士(学術)
		科学技術と持続可能社会 持続可能社会創成学概論 サステナビリティ経済学基礎 環境産業特論Ⅰ 環境産業特論Ⅱ 環境産業ゼミナールⅠ 環境産業ゼミナールⅡ 環境経済学ゼミナールⅠ 環境経済学ゼミナールⅡ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅰ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅱ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅲ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅳ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅴ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅰ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅱ
専	教授	渡邊 了 <令和4年4月> 理学博士 アントレプレナーシップ論 インターンシップ
専	教授	和田 直也 <令和4年4月> 博士(環境科学)
		科学技術と持続可能社会 持続可能社会創成学概論 高低差4000mの共生社会実習 サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティ環境理学基礎 サステナビリティデータ解析・GIS演習 保全生物学特論 植物生態学特論 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 植物生態学ゼミナール 森林生態管理学ゼミナール 高山生態学ゼミナール 保全生物学ゼミナール 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅰ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅱ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅲ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅳ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅴ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅰ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	龍 世祥 <令和4年4月> 博士(学術)
		科学技術と持続可能社会 持続可能社会創成学概論 サステナビリティ経済学基礎 環境産業特論Ⅰ 環境産業特論Ⅱ 環境産業ゼミナールⅠ 環境産業ゼミナールⅡ 環境経済学ゼミナールⅠ 環境経済学ゼミナールⅡ サステナビリティ先端研究Ⅰ サステナビリティ先端研究Ⅱ サステナビリティ先端研究Ⅲ サステナビリティ先端研究Ⅳ サステナビリティ先端研究Ⅴ サステナビリティ実践研究Ⅰ サステナビリティ実践研究Ⅱ
専	教授	渡邊 了 <令和4年4月> 理学博士 アントレプレナーシップ論 インターンシップ
専	教授 (学 環 長)	和田 直也 <令和4年4月> 博士(環境科学)
		科学技術と持続可能社会 持続可能社会創成学概論 高低差4000mの共生社会実習 サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティ環境理学基礎 サステナビリティデータ解析・GIS演習 保全生物学特論 植物生態学特論 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 植物生態学ゼミナール 森林生態管理学ゼミナール 高山生態学ゼミナール 保全生物学ゼミナール サステナビリティ先端研究Ⅰ サステナビリティ先端研究Ⅱ サステナビリティ先端研究Ⅲ サステナビリティ先端研究Ⅳ サステナビリティ先端研究Ⅴ サステナビリティ実践研究Ⅰ サステナビリティ実践研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	池田 丈佑 ＜令和4年4月＞ 博士(国際公共政策)
		科学技術と持続可能社会 高低差4000mの共生社会実習 サステナビリティ国際政治経済学 文化の多様性と持続可能社会 グローバルゼーション特論Ⅰ グローバルゼーション特論Ⅱ グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 国際政治学ゼミナール グローバル政治経済学ゼミナール 地球市民社会ゼミナール グローバルゼーションゼミナール 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅰ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅱ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅲ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅳ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅴ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅰ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅱ
専	准教授	猪井 博登 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		空間統計特論Ⅱ 持続可能な社会に資する交通特論 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ
専	准教授	井ノ口 宗成 ＜令和4年4月＞ 博士(情報学)
		社会データサイエンス特論演習A 自然災害学特論 災害情報学特論 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	池田 丈佑 ＜令和4年4月＞ 博士(国際公共政策)
		科学技術と持続可能社会 高低差4000mの共生社会実習 サステナビリティ国際政治経済学 文化の多様性と持続可能社会 グローバルゼーション特論Ⅰ グローバルゼーション特論Ⅱ グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 国際政治学ゼミナール グローバル政治経済学ゼミナール 地球市民社会ゼミナール グローバルゼーションゼミナール サステナビリティ先端研究Ⅰ サステナビリティ先端研究Ⅱ サステナビリティ先端研究Ⅲ サステナビリティ先端研究Ⅳ サステナビリティ先端研究Ⅴ サステナビリティ実践研究Ⅰ サステナビリティ実践研究Ⅱ
専	准教授	猪井 博登 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		空間統計特論Ⅱ 持続可能な社会に資する交通特論 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ
専	准教授	井ノ口 宗成 ＜令和4年4月＞ 博士(情報学)
		社会データサイエンス特論演習A 自然災害学特論 災害情報学特論 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	榎本 勝成 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティ環境理学基礎 <small>サステナビリティ物理学特論：エネルギーと計測技術</small> グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 環境物理学ゼミナールⅠ 環境物理学ゼミナールⅡ 量子エレクトロニクスゼミナールⅠ 量子エレクトロニクスゼミナールⅡ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅰ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅱ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅲ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅳ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅴ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅰ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅱ
専	准教授	神山 智美 ＜令和4年4月＞ 修士(地域科学)
		持続可能社会創成学概論 高低差4000mの共生社会実習 サステナビリティ国際政治経済学 文化の多様性と持続可能社会 持続可能性・政治・法律 サステナビリティ法政策学 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 環境法ゼミナール 国際環境法ゼミナール 環境政策学ゼミナール 産業法・特許制度ゼミナール 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅰ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅱ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅲ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅳ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅴ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅰ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅱ
専	准教授	立石 良 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		空間統計特論Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	榎本 勝成 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティ環境理学基礎 <small>サステナビリティ物理学特論：エネルギーと計測技術</small> グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 環境物理学ゼミナールⅠ 環境物理学ゼミナールⅡ 量子エレクトロニクスゼミナールⅠ 量子エレクトロニクスゼミナールⅡ サステナビリティ先端研究Ⅰ サステナビリティ先端研究Ⅱ サステナビリティ先端研究Ⅲ サステナビリティ先端研究Ⅳ サステナビリティ先端研究Ⅴ サステナビリティ実践研究Ⅰ サステナビリティ実践研究Ⅱ
専	准教授	神山 智美 ＜令和4年4月＞ 修士(地域科学)
		持続可能社会創成学概論 高低差4000mの共生社会実習 サステナビリティ国際政治経済学 文化の多様性と持続可能社会 持続可能性・政治・法律 サステナビリティ法政策学 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 環境法ゼミナール 国際環境法ゼミナール 環境政策学ゼミナール 産業法・特許制度ゼミナール サステナビリティ先端研究Ⅰ サステナビリティ先端研究Ⅱ サステナビリティ先端研究Ⅲ サステナビリティ先端研究Ⅳ サステナビリティ先端研究Ⅴ サステナビリティ実践研究Ⅰ サステナビリティ実践研究Ⅱ
専	准教授	立石 良 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		空間統計特論Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	土田 努 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 総合病害虫管理学 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 共生機能科学ゼミナールⅠ 共生機能科学ゼミナールⅡ 総合病害虫管理学ゼミナールⅠ 総合病害虫管理学ゼミナールⅡ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅰ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅱ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅲ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅳ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅴ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅰ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅱ
専	准教授	春木 孝之 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス特論 情報科学特論 数値シミュレーション特論 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ
専	准教授	堀川 恵司 ＜令和4年4月＞ 博士(地球環境科学)
		高低差4000mの共生社会実習 サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティデータ解析・GIS演習 気候変動解析学 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 気候変動解析学ゼミナールⅠ 気候変動解析学ゼミナールⅡ 同位体地球化学ゼミナールⅠ 同位体地球化学ゼミナールⅡ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅰ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅱ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅲ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅳ 先端研究トラックサステナビリティ先端研究Ⅴ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅰ 実践研究トラックサステナビリティ実践研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	土田 努 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 総合病害虫管理学 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 共生機能科学ゼミナールⅠ 共生機能科学ゼミナールⅡ 総合病害虫管理学ゼミナールⅠ 総合病害虫管理学ゼミナールⅡ サステナビリティ先端研究Ⅰ サステナビリティ先端研究Ⅱ サステナビリティ先端研究Ⅲ サステナビリティ先端研究Ⅳ サステナビリティ先端研究Ⅴ サステナビリティ実践研究Ⅰ サステナビリティ実践研究Ⅱ
専	准教授	春木 孝之 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		データサイエンス特論 情報科学特論 数値シミュレーション特論 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ
専	教授	堀川 恵司 ＜令和4年4月＞ 博士(地球環境科学)
		高低差4000mの共生社会実習 サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティデータ解析・GIS演習 気候変動解析学 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 気候変動解析学ゼミナールⅠ 気候変動解析学ゼミナールⅡ 同位体地球化学ゼミナールⅠ 同位体地球化学ゼミナールⅡ サステナビリティ先端研究Ⅰ サステナビリティ先端研究Ⅱ サステナビリティ先端研究Ⅲ サステナビリティ先端研究Ⅳ サステナビリティ先端研究Ⅴ サステナビリティ実践研究Ⅰ サステナビリティ実践研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	安江 健一 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		デザイン思考 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ
専	准教授	吉川(仲村) 朋子 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		文化の多様性と持続可能社会 アカデミックライティング・コミュニケーション特論 グローバルSDGs海外実践実習 グローバルSDGs海外英語実習 短期SDGsインターンシップ
専	講師	朴 銀鏡 PARK Eun-Kyung ＜令和4年4月＞ Ph. D. (高エネルギー物理学)
		文化の多様性と持続可能社会 アカデミックライティング・コミュニケーション特論 グローバルSDGs海外実践実習 グローバルSDGs海外英語実習 短期SDGsインターンシップ
専	講師	山本 将之 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 植物生産学特論 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 作物遺伝学ゼミナールⅠ 作物遺伝学ゼミナールⅡ 植物分子遺伝学ゼミナールⅠ 植物分子遺伝学ゼミナールⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	安江 健一 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		デザイン思考 社会データサイエンス特別演習Ⅰ 社会データサイエンス特別演習Ⅱ 社会データサイエンス特別研究Ⅰ 社会データサイエンス特別研究Ⅱ
専	准教授	吉川(仲村) 朋子 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		文化の多様性と持続可能社会 アカデミックライティング・コミュニケーション特論 グローバルSDGs海外実践実習 グローバルSDGs海外英語実習 短期SDGsインターンシップ 英語論文作成Ⅰ 英語論文作成Ⅱ
専	講師	朴 銀鏡 PARK Eun-Kyung ＜令和4年4月＞ Ph. D. (高エネルギー物理学)
		文化の多様性と持続可能社会 アカデミックライティング・コミュニケーション特論 グローバルSDGs海外実践実習 グローバルSDGs海外英語実習 短期SDGsインターンシップ 英語論文作成Ⅰ 英語論文作成Ⅱ
専	講師	山本 将之 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 植物生産学特論 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 作物遺伝学ゼミナールⅠ 作物遺伝学ゼミナールⅡ 植物分子遺伝学ゼミナールⅠ 植物分子遺伝学ゼミナールⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐澤 和人 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 水環境計測特論Ⅱ 水環境計測特論Ⅳ グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 水環境計測ゼミナールⅠ 水環境計測ゼミナールⅡ 土壌環境計測ゼミナールⅠ 土壌環境計測ゼミナールⅡ
専	助教	Shishir Sharmin ＜令和4年4月＞ 博士(環境科学)
		科学技術と持続可能社会 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティデータ解析・GIS演習 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ
専	助教	鹿児島 涉悟 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 火山地震化学 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ
兼任	教授	田端 俊英 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		英語論文作成Ⅰ 英語論文作成Ⅱ 知的財産法
兼任	教授	秋月 有紀 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		都市・建築環境特論Ⅱ 都市・建築設備特論Ⅱ
兼任	教授	稲寺 秀邦 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		科学技術と持続可能社会
兼任	教授	上原 雄史 ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		科学技術と持続可能社会

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐澤 和人 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 水環境計測特論Ⅱ 水環境計測特論Ⅳ グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ 水環境計測ゼミナールⅠ 水環境計測ゼミナールⅡ 土壌環境計測ゼミナールⅠ 土壌環境計測ゼミナールⅡ
専	助教	Shishir Sharmin ＜令和4年4月＞ 博士(環境科学)
		科学技術と持続可能社会 文化の多様性と持続可能社会 サステナビリティデータ解析・GIS演習 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ
専	助教	鹿児島 涉悟 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		サステナビリティ環境科学 文化の多様性と持続可能社会 火山地震化学 グローバルSDGs海外実践実習 短期SDGsインターンシップ
兼任	教授	田端 俊英 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		知的財産法
兼任	教授	秋月 有紀 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		都市・建築環境特論Ⅱ 都市・建築設備特論Ⅱ
兼任	教授	稲寺 秀邦 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		科学技術と持続可能社会
兼任	教授	上原 雄史 ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		科学技術と持続可能社会

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	内田 和美 ＜令和4年4月＞ 芸術学士 研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用 アート・デザイン思考
		白石 俊輔 ＜令和4年4月＞ 博士(数理学) 数理計画法特論Ⅰ 数理計画法特論Ⅱ
兼任	教授	高山 龍太郎 ＜令和4年4月＞ 修士(文学) 地域社会学特論Ⅰ 地域社会学特論Ⅱ
		豊岡 尚樹 ＜令和4年4月＞ 薬学博士 研究倫理 データサイエンス特論
兼任	教授	袴田 優子 ＜令和4年4月＞ 博士(教育学) 研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用
		藤田 安啓 ＜令和4年4月＞ 学術博士 データサイエンス特論
兼任	教授	堀 悦郎 ＜令和4年4月＞ 博士(医学) 研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用
		本間 哲志 ＜令和4年4月＞ 農学修士 金融の計量経済分析特論Ⅰ 金融の計量経済分析特論Ⅱ
兼任	教授	宮島 光志 ＜令和4年4月＞ 文学修士 研究倫理
		安永 数明 ＜令和4年4月＞ 博士(理学) 自然災害学特論
兼任	教授	八塚 美樹 ＜令和4年4月＞ 修士(看護学) 研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	内田 和美 ＜令和4年4月＞ 芸術学士 研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用 アート・デザイン思考
		白石 俊輔 ＜令和4年4月＞ 博士(数理学) 数理計画法特論Ⅰ 数理計画法特論Ⅱ
兼任	教授	高山 龍太郎 ＜令和4年4月＞ 修士(文学) 地域社会学特論Ⅰ 地域社会学特論Ⅱ
		豊岡 尚樹 ＜令和4年4月＞ 薬学博士 研究倫理 データサイエンス特論
兼任	教授	袴田 優子 ＜令和4年4月＞ 博士(教育学) 研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用
		藤田 安啓 ＜令和4年4月＞ 学術博士 データサイエンス特論
兼任	教授	堀 悦郎 ＜令和4年4月＞ 博士(医学) 研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用
		本間 哲志 ＜令和4年4月＞ 農学修士 金融の計量経済分析特論Ⅰ 金融の計量経済分析特論Ⅱ
兼任	教授	宮島 光志 ＜令和4年4月＞ 文学修士 研究倫理
		安永 数明 ＜令和4年4月＞ 博士(理学) 自然災害学特論
兼任	教授	八塚 美樹 ＜令和4年4月＞ 修士(看護学) 研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	山崎 けい子 ＜令和4年4月＞ Master of Science in Education (M.S.Ed.) degree (米国) 研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用
		中條 大輔 ＜令和4年4月＞ 博士(医学) データサイエンス特論
兼担	准教授	有田 行男 ＜令和4年4月＞ 修士(芸術工学) アート・デザイン思考
		岩本 学 ＜令和4年4月＞ 修士(法学) 国際私法特論Ⅰ
兼担	准教授	沖野 浩二 ＜令和4年4月＞ 修士(工学) 研究倫理
		高柳(中塚) 百合子 ＜令和4年4月＞ 博士(工学) 都市・地域計画特論
兼担	准教授	野田 秀孝 ＜令和4年4月＞ 修士(福祉マネジメント) 地域共生社会特論
		濱田 篤 ＜令和4年4月＞ 博士(理学) 確率過程特論
兼担	准教授	参沢 匡将 ＜令和4年4月＞ 博士(工学) データサイエンス特論 情報科学特論 機械学習特論Ⅰ 機械学習特論Ⅱ
		宮城 信 ＜令和4年4月＞ 博士(言語学) テキストマイニング特論
兼担	准教授	若林 文靖 ＜令和4年4月＞ 経済学修士 現代経済理論特論Ⅰ 現代経済理論特論Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	山崎 けい子 ＜令和4年4月＞ Master of Science in Education (M.S.Ed.) degree (米国) 研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用
		中條 大輔 ＜令和4年4月＞ 博士(医学) データサイエンス特論
兼担	准教授	有田 行男 ＜令和4年4月＞ 修士(芸術工学) アート・デザイン思考
		岩本 学 ＜令和4年4月＞ 修士(法学) 国際私法特論Ⅰ
兼担	准教授	沖野 浩二 ＜令和4年4月＞ 修士(工学) 研究倫理
		高柳(中塚) 百合子 ＜令和4年4月＞ 博士(工学) 都市・地域計画特論
兼担	准教授	野田 秀孝 ＜令和4年4月＞ 修士(福祉マネジメント) 地域共生社会特論
		濱田 篤 ＜令和4年4月＞ 博士(理学) 確率過程特論
兼担	准教授	参沢 匡将 ＜令和4年4月＞ 博士(工学) データサイエンス特論 情報科学特論 機械学習特論Ⅰ 機械学習特論Ⅱ
		宮城 信 ＜令和4年4月＞ 博士(言語学) テキストマイニング特論
兼担	准教授	若林 文靖 ＜令和4年4月＞ 経済学修士 現代経済理論特論Ⅰ 現代経済理論特論Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	奥 牧人 ＜令和4年4月＞ 博士(情報理工学)
		データサイエンス特論 数理統計学特論Ⅰ 数理統計学特論Ⅱ
兼任	准教授	尾山 真 ＜令和4年4月＞ 修士(経営学)
		研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用 大学院生のためのキャリア形成
兼任	講師	岡本 知久 ＜令和4年4月＞ 修士(芸術工学)
		アート・デザイン思考
兼任	講師	長田 堅二郎 ＜令和4年4月＞ 修士(美術)
		アート・デザイン思考
兼任	講師	松田 愛 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		アート・デザイン思考
兼任	准教授	長岡 亮 ＜令和4年4月＞ 博士(医工学)
		データサイエンス特論
兼任	講師	藪谷 祐介 ＜令和4年4月＞ 博士(デザイン学)
		アート・デザイン思考
兼任	講師	赤坂 彰彦 ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		知的財産法
兼任	講師	大谷 嘉一 ＜令和4年4月＞ 工学士
		知的財産法
兼任	講師	岸本 充生 ＜令和4年4月＞ 博士(経済学)
		科学技術と持続可能社会
兼任	講師	中村 征樹 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		研究倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	奥 牧人 ＜令和4年4月＞ 博士(情報理工学)
		データサイエンス特論 数理統計学特論Ⅰ 数理統計学特論Ⅱ
兼任	准教授	尾山 真 ＜令和4年4月＞ 修士(経営学)
		研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用 大学院生のためのキャリア形成
兼任	講師	岡本 知久 ＜令和4年4月＞ 修士(芸術工学)
		アート・デザイン思考
兼任	講師	長田 堅二郎 ＜令和4年4月＞ 修士(美術)
		アート・デザイン思考
兼任	講師	松田 愛 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		アート・デザイン思考
兼任	准教授	長岡 亮 ＜令和4年4月＞ 博士(医工学)
		データサイエンス特論
兼任	講師	藪谷 祐介 ＜令和4年4月＞ 博士(デザイン学)
		アート・デザイン思考
兼任	講師	赤坂 彰彦 ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		知的財産法
兼任	講師	大谷 嘉一 ＜令和4年4月＞ 工学士
		知的財産法
兼任	講師	岸本 充生 ＜令和4年4月＞ 博士(経済学)
		科学技術と持続可能社会
兼任	講師	中村 征樹 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		研究倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平川 秀幸 <令和4年4月> 博士(学術)
		科学技術と持続可能社会
兼任	講師	山崎 登志成 <令和4年4月> 工学博士
		英語論文作成 I 英語論文作成 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平川 秀幸 <令和4年4月> 博士(学術)
		科学技術と持続可能社会

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

・令和4年4月1日付昇任のため、堀川准教授の職名を「准教授」から「教授」へ変更。 ・令和4年3月末転出により、白石教授の職名を「教授」から「講師」へ変更、専任・兼任の別を「兼任」へ変更。 ・担当教員見直しのため、吉川准教授及び朴講師の担当授業科目に「英語論文作成Ⅰ」「英語論文作成Ⅱ」を追加し、田端教授の担当授業科目から「英語論文作成Ⅰ」「英語論文作成Ⅱ」を削除。
--

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
18	11	2	3	34	0	19	10	2	3	34	0
(19)	(10)	(2)	(3)	(34)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
21	1	12				21	1	12			
(21)	(1)	(12)				(21)	(1)	(12)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
19	10	2	3	34	0	19	10	2	3	34	0
[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
21	1	12				21	1	12			
[0]	[0]	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、**既に設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、**
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階まで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{34}{34} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{34} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{34} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし										
合計					後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目		

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
届 出 時 (令和3年)	特にグローバルSDGsプログラムについて、経済学分野の学修に関して、ミクロ経済学やマクロ経済学が開設されていないなど、基礎的な学修が十分に行えるか疑義があるため、本学環の教育目標が達成できるよう、科目を追加する等の見直しを図り、教育課程の充実を図ること。	遵守事項	グローバルSDGsプログラムについて、基礎から応用までの学修が体系的に行えるよう、学環共通科目、学環専門科目（基盤科目・実践科目）において、授業科目の追加、統合（廃止）、科目区分変更を行った。 ①基盤科目に、ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎を学修する「サステナビリティ経済学基礎」を新たに必修科目として追加した。 その他、持続可能社会の構築に必要な修士レベルの学修を十分に行えるように、基盤科目の科目構成や講義内容を見直した。 ②実践科目に、社会科学系の講義4科目、演習8科目を新たに加えるとともに、既存の社会科学系の講義2科目（経営学特論Ⅰ（旧：組織と人材のマネジメント特論）、経営学特論Ⅱ（旧：人材開発政策特論））について授業科目の内容を変更することで、サステナビリティ学に関連する経済学や経営学の分野を体系的に学修できるカリキュラム編成とした。 ③経済学系の授業科目の追加に伴い、経済学を専門とする社会科学系の専任教員（教授）を2名加え、研究指導を行う上でも経済学系の分野を充実させた。	履行済
届 出 時 (令和3年)	本学環には、「線形代数特論Ⅰ・Ⅱ」、「数理統計学特論Ⅰ・Ⅱ」、「情報科学特論Ⅰ・Ⅱ」など、学部で学ぶべき基礎的な内容が多く含まれているように見受けられるため、本学環の教育目標に照らして、修士課程として相応しい学修が提供できるよう、専門科目の充実を図ること。	遵守事項	社会データサイエンスプログラムでは、カリキュラムの体系を明確にするため、授業科目の内容を精査し、学環共通科目、学環専門科目（基盤科目、実践科目、ドメイン科目）を科目区分の目的に応じて再構成した。 ①基盤科目のうち、「線形代数特論Ⅰ・Ⅱ（旧）」、「数理統計学特論Ⅰ・Ⅱ（旧）」、「情報科学特論Ⅰ・Ⅱ（旧）」及び「情報センシング特論Ⅰ・Ⅱ（旧）」は修士課程に相応しい内容に改め、必要に応じて名称変更を行った。 ②ハイレベルな数学、情報科学に関する専門科目とし	履行済

			て、実践科目に「最適化問題特論」、「確率過程特論」、「テキストマイニング特論」の3科目を新設した。	
届出時 (令和3年)	多様な入学者に対して、基礎的な学修と専門的な学修の両方を十分に行うことができるように、学内資源を活用した分野横断的な教育の実現に努めること。	遵守事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学環共通科目及び学環専門科目（基盤科目・実践科目・ドメイン科目）を開設し、基礎的な学修、専門的な学修を十分行うことができるようにしている。このことを徹底するため、各プログラムの基盤科目、実践科目において、科目の充実や構成変更を行い、基礎から応用まで、幅広く体系的なカリキュラム構成とした。 ・学環共通科目では、様々な分野の教員が参画して文理を超えた幅広い授業科目を開設し、学生の所属するプログラムに関わらず、グローバル、ローカル両方の視点からSDGsマインドを醸成する。この学環共通科目の特徴をさらに充実するため、グローバルSDGsプログラムの基盤科目に配置していた「文化の多様性と持続可能社会」の講義を、学環共通科目へ科目区分を変更し、社会データサイエンスプログラムに所属する学生にも履修できるようにした。 ・基礎的事項について学修が必要な場合は、学士課程の授業科目で補うよう指導することで対応する。 	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘**を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<持続可能社会創成学環>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD活動を中心とした教育内容改善のための組織的な研修については、持続可能社会創成学環教務委員会（以下、本委員会という。）が主として所管しており、令和4年4月1日に設置済みである。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>（1ヵ月／1回程度）委員の出席率は100%である。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>本委員会の審議事項は以下のとおりである。なお、教員の資質の維持向上は（9）に含まれる。</p> <p>（1）教育課程の編成及び評価等に関すること。</p> <p>（2）主指導教員及び副指導教員に関すること。</p> <p>（3）学生の履修に関すること。</p> <p>（4）学生の修了、休学、復学、転学、退学及び除籍等の学生の身分に関すること。</p> <p>（5）学生の奨学援助に関すること。</p> <p>（6）特別研究学生等非正規生及び外国人留学生に関すること。</p> <p>（7）修士論文に関すること。</p> <p>（8）入学者選抜に関すること。</p> <p>（9）その他教務に関すること。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）についてはこれから計画・審議する予定である。</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>各授業科目の開講クォーター末に実施予定</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>検討中</p>

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置申請に沿った、文理の枠を超えた研究分野の異なるカリキュラム等の整備が行われ、令和4年4月より学生の受け入れを開始した。設置の趣旨・目的の達成に向けた教育体制の整備及び活動は順調に行われていると考えており、引き続き、更なる充実・発展を目指していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年度中に公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和4年度中に公開）

③ 認証評価を受ける計画

・令和6年に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。